

4月 モニターレポート		担当出張所	枚方出張所
担当区間	淀川中流左岸 木屋元地区～枚方大橋		
モニター実施日時	令和二年4月3日（金） 8時～ 9時 令和二年4月21日（火） 16時～17時		
天候	晴天		
<p>（見出し）</p> <p>今月は淀川左岸の木屋元地区～枚方地区についてモニターしました。</p> <p>工事の状況、ゴミの不法投棄について報告します。</p>			
<p>三寒四温、春の陽気とともに冷え込みもみられる4月。未曾有の新型コロナウイルスは終息の見通しがたたず、3月に引き続き、学校は休校。それどころか、緊急事態宣言の発令により、通勤や買い出し、健康を維持する程度の散歩を除いた外出を控えるよう自宅待機の要請が国から出ました。</p> <p>3月に引き続き、河川敷の様相も大きく変わりました。平日の日中も子どもたちが活動をしている様子が見受けられました。自宅待機を命じられているなかの活動に関して賛否があるようですが、健康的な生活をおくるうえで一定程度、外での活動は必要かと思われます。</p> <p>ただ、利用者の増加に伴い、ゴミの不法投棄も増えているようです。朝、管理事務所の職員の方が朝の見回りに出くわしましたが、大きなゴミ袋を片手に清掃を兼ねて、回っておられました。利用者はマナーの改善に努めてもらいたいです。</p> <p>枚方大橋南側に大型の重機を運搬するトラックが列をなしていました。ワンド工事のため、伐採、掘削を行うそうです。ワンドという聞きなれない言葉を調べますと、「川の本流と繋がっているが、河川構造物などに囲まれて池のようになっている地形のことで、魚類などの水生生物に安定した棲み処を与えるとともに、様々な植生が繁殖する場ともなる場」だそうです。自然豊かな河川敷になることを切に願います。</p>			
			

さて、ところどころにバーベキュー禁止の案内がありました。禁止場所でもないような箇所での案内でしたが、これは工事によるものでしょうか。確かに大型のトラックが行き来している状況なので危険かとは思いますが。それとも、コロナウィルスの影響で密集を避けるためでしょうか。そのあたりが不明でした。



(意見・感想・処置等)

四月のレポートありがとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が出され、私たちの日常生活にも様々な影響を及ぼしています。

この様な時期ですのでモニター活動の際は、体調管理等には充分留意してください。

ゴミの不法投棄についてはこの様な時期だからこそ利用者の各自がマナーに対するちゃんとした意識を持ってもらいたいものです。

淀川のワンドは明治以降に舟運航路確保のために造られたケレップ水制工の周辺に自然豊かなワンドが形成されたものです。

ケレップ水制工とはオランダ人技術者のヨハニス・デ・レーケによって日本に導入されたもので、堤防に直角に設置され、低水時の流路を狭めることにより低水路を確保して舟航を円滑にすることを目的に設置されました。

やがてこの水制に囲まれたところに土砂がたまり、その上に水際を好む植生が繁茂し、現在のワンドの元が形成されました。

ワンドは水流が穏やかなので淡水魚の生息に適しており、水性植物が繁茂するところは魚の産卵や稚魚が暮らす絶好の場所となっています。

枚方の管内ではないのですが、淀川では大阪市域にある城北ワンドが特に有名ですね。

公園内のバーベキュー禁止についてはやはりコロナウィルスの感染拡大防止のため密集を避けることが目的です。

それでは五月分のレポートをお待ちしております。

08hir 豎モニタ一【淀川】

